

ヒトパピローマウイルス感染症予防接種（HPVワクチン）

子宮頸がんは年間約 1.1 万人がかかり、約 2, 900 人が死亡する病気で、20代から増え始め40代でピークを迎えます。子宮頸がんの発生にはヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が関連しており、一般的に性交渉で感染すると言われております。多くの場合は、HPVに感染しても免疫により排除されますが、排除されず感染が続くと、異形成という前がん状態を経て、子宮頸がんを発症する恐れがあります。

子宮頸がんワクチンは、平成25年4月に予防接種法に基づく定期接種となった直後に、予防接種後にワクチンとの因果関係が明確ではないものの、重い副反応が疑われる報告があり、国からの接種の積極的勧奨を控えるという通知を受け、市では対応してまいりました。

今回、子宮頸がんワクチンの安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ることが認められたため、令和4年4月より積極的勧奨が再開となり、市では対象となる方へ通知を行います。

★接種対象となる方には、子宮頸がんワクチン接種につきまして、ワクチンの効果・リスクについてご理解いただき、接種をお受けください。

1.対象者・接種期間・回数

定期接種

対象者（生年月日）	助成対象期間	接種回数
平成18年4月2日～ 平成23年4月1日生まれの女子	高校1年生相当の年度末3月31日まで ★特例措置のため下記対象者は期間延長 平成18年度生まれの方は令和6年度まで延長 平成19年度生まれの方は令和6年度まで延長	3回

キャッチアップ接種対象者（平成9～17年度生まれ）

対象者（生年月日）	助成対象期間	接種回数
平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれ	令和4年4月1日から 令和7年3月31日	3回

※以前1～2回接種を受け中断していた場合は、残りの回数分が対象となります。

2.接種方法

医療機関での個別接種となります。詳しくは、リーフレット最終ページ（4ページ）に医療機関名と電話番号が記載されておりますのでご覧ください。

なお、接種の際には予診票と母子健康手帳をご持参ください。

3.接種料金

助成対象期間内での接種は無料です。

4.HPV ワクチンの接種を自費で受けた方に対する償還払いについて

- 令和4年5月1日より，申請を受け付けます。

※令和4年4月1日時点で住民登録のある市区町村に申請

受付窓口： 気仙沼市 健康増進課 電話 0226(21)1212

気仙沼市東新城二丁目2番1号 市民健康管理センター「すこやか」内

受付時間： 平日午前8時30分から午後5時15分まで

- 手続きに必要な書類

①被接種者の氏名，住所，生年月日が確認できる書類の写し

②振込希望先金融機関の通帳又はキャッシュカードのコピー（口座番号等確認用）

③接種費用の支払いを証明する書類（原本）

④接種記録が確認できる書類（母子手帳等）

※申請者と被接種者が異なる，必要書類が不足している等の場合に，追加の書類を
求めることがあります。

※ワクチンの効果・リスクについて，必ずご確認ください。

《お問合せ》 気仙沼市 健康増進課 電話 0226(21)1212

気仙沼市東新城二丁目2番1号 市民健康管理センター「すこやか」内